



Journal

第17号
2025(R7)年12月16日
山形県立寒河江高等学校
新聞部

書道部・新聞部 全国総文祭に出場決定

2学期は、文化部も多く大会に出場し、活躍した。書道部、新聞部では来年度の全国総文祭の出場を決めた。運動部ではカヌー部が好成績を残した大会に駒を進めた。今後の活動に注目しよう。

書道

山形県高等学校総合文化祭

日時:10月10日(金)

於:新庄市体育館

特別賞

長岡樹香(2)

全国高総文祭秋田大会出場

書道部会長賞

長岡樹香

書道部会長賞

飯野翠(2)

全国高総文祭第50回記念推薦作品

優秀賞

高野もえ(3)

優秀賞

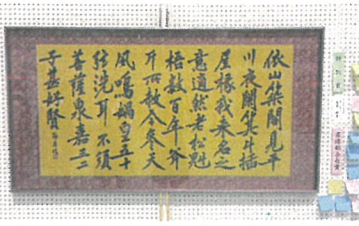
布川未歩(3)

【顧問寸評】

一人ひとりが常に高い目標を持ち、コツコツと努力してきた結果です。さらに次を目指して頑張ります。

【出場者寸評】

総合文化祭に向けて各自が選んだ書体を丁寧に臨書し、それぞれの個性が際立ち、一人一人の強みが発揮された作品を仕上げる



「ハダカにきました。」

長岡樹香(2・5)さんの作品「臨 黄庭堅『松風閣詩卷』」

【顧問寸評】

第47回県高校新聞コンクール
日時:10月6日(月)
於:大手門パルズ
最優秀賞
部長コメント
木村みらの(2・3)
8年連続で最優秀賞を頂くことができ、光栄です。これからも直すべきところは直し、全校生徒に読まれる新聞づくりを心がけてい

放送

県高等学校新人大会

日時:10月30日(木)

於:山形県生涯学習センター「遊学館」

アナウンス部門

10位

阿部日菜吏(1・2)

東北大会出場

テレビキャンペーン部門

【ぬい予知】 出品

朗読部門

柏咲綾(1・4) 出場

大泉楓(1) 出場

【顧問寸評】

各々今回の大会で見つけた課題に、冬の間に向き合って春の大会を迎えたい。東北大会出場者は貴重な機会をさらなる成長につなげてほしい。

【部員寸評】

初めての大会で自分の練習したことを、力を発揮することができて良かったと思います。東北大会出場おめでとう！東北大会でも練習の成果を存分に発揮して楽しんでくださいね！

茶華道

日時:8月7日(木)

於:天童市市民文化会館

参加

「生徒たちの茶会」

他校の茶道部の生徒、幼稚園児や先生方に加え、一般の方など幅広い年代のお客様もてなした。

【顧問寸評】

外部での活動で多くの方々から指導いただき、自信につながったのではないだろうか。

【出場者寸評】

奥の深い世界だから、自分の未熟さを感じつつも、いつもとは違う環境での良い練習に

カヌー

令和7年度東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会

日時:10月18日・19日

於:津軽白神湖特設カヌー競技場

【女子】

第1位: 太田里桜奈・土田琳子
第2位: 横尾幸乃(2)

【男子】

第1位: 太田里桜奈・土田琳子
第2位: カヤックペア
第3位: 土田琳子(2)

カヤックフオア

第1位: 太田里桜奈・土田琳子

土方綾乃・横尾幸乃

【男子】

第1位: 太田里桜奈・土田琳子
第2位: 中村拓郎(1・3)

【女子】

第1位: 太田里桜奈・土田琳子
第2位: カヌーシングル
第3位: 横尾幸乃(2)

バレー

第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会山形県代表決定戦村山地区予選

日時:9月13日・14日

於:上山明新館高校1日目

1回戦

○寒河江2・0

○上山明新館

×寒河江0・2山形南

2日目

○寒河江2・0

○山形商業

【選手寸評】

特に山形南戦・創学館戦は自分たちのミスが多く、流れをつかみきれず、悔いの残る試合だった。課題が明確になったので次の大会に向けて一丸となって頑張りたい。

第3回オープンスクール 伝える 寒高の魅力 受験生にも倍倍FIGHT!

11月1日(土)、山形テルサにて今年度3回目の新入生向けのオープンスクールが開催された。各々今回の大会で見つけた課題に、冬の間に向き合って春の大会を迎えたい。東北大会出場者は貴重な機会をさらなる成長につなげてほしい。

河北中 女子
「話し方や資料が分かりやすく、前期選抜の意欲が向上した。受験方法が変わったことへの理解も深めることができた。万全な状態で受験に臨みた。」
次に副生徒会長にインタビューを行った。



熱心に説明を聞く受験生と保護者

中学生の反応を見て、
「楽しんできた印象。ダンスなどで親しみやすく、寒高の良さなどを伝えることができた。」
受験に対する不安と

挑戦への理解で進路選択の一歩に繋がった。
寒高の魅力を伝えられたか
前半とは違い、生徒目線で素晴らしい学校の良さを伝えることができた。
最後に相澤哲哉校長にインタビューを行った。
中学生の反応を見て、
「とても真剣な印象。寒高の魅力を伝えられたか
昨年とは異なり、生徒のみんなが学生に対して直接入ってほしいという思いがストレートに伝わったと思う。」